

受験番号

氏名

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ぼくは毎年、秋もおそくなって、自分の家の花壇が荒れてくるのが楽しみである。そろそろ自分も、人生のなかばを通りこして落とすべき葉を落とし始めているせいか、今年あたりは、(A) かえって荒れた花壇が好きだと言いにくくなってきた。

こうして夏から花の終わっていく姿を見ると、三日なり五日なり、実にくらやましいほどの美しさを見せて咲いてから、あっさりとはびらを落とすものもあるし、花びらが褐色になっても名残おしそうにいつまでもくつつけているものもある。

人間は化粧をすることを覚えてから、自分の盛りを一刻でも長引かせる工夫をおこたらない。むしろそのために苦労して老い込んでいくのではないかしらと思うことがある。

ぼくは女の方々でも、無理に若々しくよそおっている姿を見ると、花びらを「A」花を思い出してしまう。けれども、秋から冬にかけての花壇には、花はなくても、それ以上に美しいものがある。その枯れていく茎や葉や、その先にわずかに数えられる実まで含めて、全体に、夏の盛りには見られない落ち着きと、何かしら(B) 深い知恵を感じさせるものがある。

そして①それはまた人間にさまざまのことを教えてくれる。(C) 美しく咲いている花ばかりを見ている人、満月の夜ばかり夜空をながめる人は、自分の盛りが過ぎても、なお、②それのみに執着をもつて、盛りをすぎた自分に美しさを発見することがない。むつかしいことなのかも知れないが、りこうなはずの人間が、この点ではひどく愚かな狼狽をしているように思われてならない。

問一、(A)「言いにくくなってきた」とあるが、それは筆者のどんな心情を表しているか答えなさい。

問二、【ア】部分に入れる適切なことば(十二字)を、本文中から抜き出しなさい。

問三、(B)「深い知恵」とは何か、

問四、傍線部①「それ」はどんな内容か答えなさい。

問五、(C)「美しく咲いている花ばかりを見ている人、満月の夜ばかり夜空をながめる人」とは、どんな人なのか、わかりやすく説明しなさい。

問六、傍線部②「それ」は何をさしているか答えなさい。

二. 次の傍線部のカタカナを漢字になおしなさい。

(送り仮名が必要な場合もある)

- ① スイチ ヨクな線を引く。
- ② 本日の会議資料をハイケンしました。
- ③ インガシイ毎日を送る。
- ④ 新学期から生活をカイゼンする。
- ⑤ 難民をキユウサイする。

三. 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 寺を建立する
- ② 会釈してすれ違った
- ③ 業務を遂行する
- ④ 均衡を保つ
- ⑤ 疾病予防をおこなう

四. 次の二字熟語の対義語を書きなさい。

- | | |
|------|------|
| ① 自力 | ② 発信 |
| ③ 進化 | ④ 上昇 |
| ⑤ 否定 | ⑥ 公用 |
| ⑦ 上昇 | ⑧ 及第 |

五、次の()に体の一部を表す漢字一字を入れて慣用句を完成させなさい。
また、その慣用句の意味を語群から選り記号で答えなさい。

- ① 話の () を折る
- ② () が立つ
- ③ () をひそめる
- ④ () が下がる
- ⑤ () にかける

【語群】

- ア、得意になって自慢する様子。
イ、人が話しているとちゅうで口をはさみ、話をときれさせること。
ウ、他人の行為などにいやな顔をすること。
エ、思いがけない急な知らせにおどろくこと。
オ、技や能力が優れていること。
カ、調子のいい話し方やおだてに乗って騙されること。
キ、深く感心して敬意を示す様子。

六、次の文を読み、適切な敬語であれば○を、間違があれば、その部分を適切な敬語に直しなさい。

- ① 今日は先生が遅れていらつしやるそうです。
- ② 先生が申しあげられたとおりです。
- ③ 詳しくは受付でお伺いください。
- ④ このお菓子は皆さんでいただかれてください。
- ⑤ 先生のお宅の犬は大きくなられましたか？

七、例を参考にして、①～③のそれぞれの語句を用いて、語句の意味がよくわかるような、主語・述語が入った短い文を作成しなさい。

【例】「目の敵」

一郎君は、なぜか太郎君から目の敵にされている。

- ① 「骨を折る」
- ② 「目に余る」
- ③ 「糠に釘」

小論文

以下のテーマについて、自分の体験談を交えながら論じなさい。(800字以内)

テーマ

「常識」について